

陸上養成期間の給餌量がタイラギの成熟，栄養状態，産卵，幼生サイズに及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-01-27 キーワード (Ja): タイラギ; 給餌量; 採卵; 親貝養成 キーワード (En): 作成者: 小島, 大輔, 前田, 雪, 井上, 俊介, 兼松, 正衛, 伊藤, 篤, 山崎, 英樹, 淡路, 雅彦, 橋本, 和正, 西本, 篤史 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57348/0000000130

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



陸上養成期間の給餌量がタイラギの成熟、
栄養状態、産卵、幼生サイズに及ぼす影響

小島大輔・前田 雪・井上俊介・兼松正衛・伊藤 篤・
山崎英樹・淡路雅彦・橋本和正・西本篤史

陸上養成期間のタイラギへの適正な給餌量を調べるため、異なる給餌量の3試験区(0.5, 1, 2億細胞 *Chaetoceros neogracile*/g 軟体部重量/日)を設定し、約1か月後の成熟、栄養状態、採卵成績を比較した。雌の内臓指数(成熟指標)は1億と2億区で有意に増加し、生殖巣が放出期の出現割合は雌雄ともに2億区が最も高かった。採卵数は2億区が最多で、0.5億と1億区の約11倍であった。受精翌日のD型幼生の殻長は2億区が最大で、2億と1億区は0.5億区より有意に高かった。後閉殻筋指数と後閉殻筋グリコーゲン量(栄養指数)は、試験区間に有意差はなかった。成熟と採卵ともに2億区が最も高成績であった。